

令和6年度 主要な事業実施報告

事業名	説明
観光情報誌作成 市街地観光マップ作成 (砂楽広告・宣伝業務委託)	本市の観光スポットや交通アクセス、旬のイベント等を広く情報発信するために作成。県、市をはじめ関係機関等と連携しながら国内主要の旅行会社等への広報宣伝誌として本市観光の認知度を図った。 また、本市へお越しいただいた観光客や滞在客に対する道標として、誘客並びに観光客の利便性向上のために、情報誌および市街地マップを作成した。 本年度も昨年度に引き続き、A5サイズを適用。 ◆市街地イラストマップの作成 (令和7年3月/日本語 50,000部/英語 5,000部 発行) ◆観光情報誌「アロハ通信 No. 53」(令和7年3月/各 30,000部 発行)
指宿観光宣伝誘致促進事業 ・指宿観光セールス事業 (指宿市受託事業)	今年度の指宿観光セールス事業は、宣伝誘致委員会を迅速に開催し、主要都市の旅行会社やマスコミ等の訪問を中心に、近隣で最も市場が大きい福岡市内と関東・関西地区でセールス・PR活動を計画し、戦略を見直すことにより時代に合ったPR活動として、動画による情報発信や、SNS等を活用した広告等によるPR等も実施した。 併せて、県・市と連携してキャンペーン等、これまでの企画とは違った、創意工夫を凝らした内容を計画し、教育旅行の受け入れ体制の強化やスポーツコミッションと連携するなど、早い段階で市担当者と、手法・手段のための協議を行った。 *セールス活動報告 関東(東京)地区【令和6年12月2日(月)～4日(水)】 九州(福岡)地区【令和6年12月9日(月)～10日(火)】 大阪/名古屋地区【令和7年1月15日(水)～17日(金)】
広域観光推進事業	本年度も鹿児島県で取り組んでいるサイクルツーリズムは県内の観光地を巡るコース設定が行われSDGsを取り入れた新たな観光戦略となってきたことから、本市としても密に連携を図りサイクルツーリズムの推進に努めた。また、「いぶすき広域観光推進協議会」では、南九州市、南大隅町、錦江町と広域連携を図り、より一層「山川・根占フェリー航路」の利用促進並びに、観光地としての拠点づくりを図るよう努めた。さらには、種子島・屋久島への着地型観光の橋渡しとしての積極的な観光受入の体制強化を図った。 *いぶすき広域観光推進協議会事業 ①広報宣伝事業 すみっこ巡りビジュアルコンテストの開催並びに、インフルエンサー等を活用した情報発信や、すみっこ巡りランディングページ作成、並びに、南日本リビング新聞、yahoo PCブランドパネルへの特集記事掲載 等 ②誘致促進事業 教育旅行のセールス活動。 ③受入対策事業 菜の花・ひまわりの植栽事業及びアンブレラスカイの設置事業や、エージェント等と連携したおもてなし事業。 ④広域的連携事業 鹿児島県の(地域振興事業)を活用し、薩摩・大隅半島周遊観光促進事業で「ぐるっと満喫! ドライブスタンプラリーⅣ」を開催。(大隅広域観光開発推進会議との連携事業)

事業名	説明
体験型観光推進事業	周遊・滞在型観光地として、いぶすき極上体験プログラムの体験内容を精査して、既存プログラムの見直しを行うことにより、様々な分野の新規体験の開発などプログラム内容を充実させ、観光客のみならず、指宿市民も含めた利用者のニーズに合ったプログラムの開発に努めた。 併せて、旅行エージェントとの連携を図り、極上体験プログラムのPR・誘客に努めた。 〔既存の体験プログラム数〕 砂むし温泉：1／グルメ：8／体験：9／特産品7 合計：25
観光案内事業 (観光客の受入環境整備等) 指宿市総合観光案内所 砂案内観光案内所 指宿ビジターセンター	国内観光旅行者へのサービスはもちろん、本市を訪れる多くの外国人観光客のため、指宿市総合観光案内所をJNTO認定の外国人観光案内所として機能させると共に、多言語による観光案内に対応するため、指宿市より観光コンシェルジュを案内所へ派遣していることで、少しずつ戻ってきている外国人次もきめ細やかな接客に取り組み、それぞれの観光客のニーズに合った案内が出来た。 併せて、JR 指宿駅構内にデジタルサイネージを設置したことにより、国内観光客並びに訪日観光客へのサービス向上を図る事で、旬な情報をいち早く提供することが出来た。
いぶすき菜の花マラソン大会 (実行委員会)	第42回いぶすき菜の花マラソン大会(令和7年1月12日)開催 32回大会以来の雨天の開催となったが、過去の教訓を基に、山川高校内救護センターをフル活用するなど無事大会を終えることができた。 今回は、今後の国際化を視野に入れ、観光庁「地域観光新発見事業」を活用させていただき、公式ホームページや参加案内、会場内案内標識等の多言語化を図るとともに、SNS 広告等を活用して誘客に努め、過去最多となる12の国と地域からご参加いただいた。 また、旧市民会館跡地を「交通ターミナル」として交通網の離発着を集約し、参加者の利便性を大きく高めることができた。 前回初開催のファンランニングも定員を拡大して実施。 エントリー数 9,429名(フルマラソン8,291名、ファンラン1,138名) 当日出走数 8,089名 ※いずれもゲストランナーを除いた人数
いぶすき菜の花マーチ (実行委員会)	第33回いぶすき菜の花マーチ(令和7年1月24日～26日)開催 今回は、フラワーパークかごしまをメイン会場とし、日本マーチングリーグの運営規約に則って計画・実施いたしました。参加者数は年々減少傾向にありますが、当日受付も例年通り実施することができた。 一方で、物価高騰や為替変動といった経済状況の影響を踏まえ、今後の大会運営についてはより慎重かつ柔軟な対応が求められることを認識させられる大会でもあった。また、かごしま春の3大ウオーク「南さつま市の(鑑真の道歩き)および霧島市の(龍馬ハムウォーク)」との連携による3大会スタンプラリーも実施することができた。
いぶすき菜の花大使活動 (いぶすきアロハのまちづくり)	本年度は、コンテストで新たに選出した2名で活動を実施。各地でのキャンペーンやセールス活動の他、いぶすき菜の花マラソンやマーチ等の各種イベントへ指宿の観光大使として参加いただき、積極的なPR活動を通して、当地の観光宣伝や交流を行っていただいた。 その他、instagram や facebook 等、SNS での情報発信にも取り組んでいただき、広く指宿の情報発信に努めていただいた。

事業名	説明
いぶすきアロハのまちづくり (実行委員会)	第21回いぶすきフラフェスティバル（令和6年6月7日～9日） 今回も、指宿総合体育館をメイン会場に、「コンペティション（競技会）」や「エキジビション（発表会）」、「アロハナイトパーティー」、本場ハワイのクムフラ（フラの先生）を招いた「ワークショップ」と、盛りだくさんの内容で開催した。 特に、コンペティションに過去最高（42組）を大きく上回る56組にエントリーいただき、西日本最大級と言われるイベントに成長した。 他、毎年恒例の「アロハ宣言」等アロハのまち指宿を推進した。 参加のべ人数 2,563名 来場者数 約9,200名（3日間） コンペティション260名（56組）・エキジビション1,857名（226組）・ ワークショップ159名・アロハナイトパーティー122名・ 街角フラ165名（25組）※雨天中止
地区別宿泊統計作成事業	当協会の目的及び事業の柱である観光客の誘致促進を実現するため、より効果的な活動を行う必要があることから、各宿泊施設及び指宿市や鹿児島県南薩地域振興局と連携を図り、月毎に地域別や種別の宿泊者数等の統計資料を作成。理事会や関係者間で共有するとともに、広く営業やセールス活動の根拠資料として活用していただくため、ホームページにおいても公開し、会員、非会員を問わず閲覧できるよう務めた。
プラットホーム整備促進事業 (山川根占フェリー利用促進事業) (海外誘致対策事業)	訪日観光客の増加に対応し、地域の環境整備や観光地としての魅力向上に取り組んだ。県・市・観光関係者と連携しながら、誘客対策を推進するとともに、いぶすき広域観光推進協議会や環錦江湾観光連絡会議と協力し、山川・根占航路の安定運航による広域的な観光圏の形成を目指した。 このことにより、薩摩半島と大隅半島をつなぐ新たな観光ルートの創出を図れたと感じた。 また、新しい時代に即した観光や食のブラッシュアップを行い、地域の文化資源を活かした付加価値の高い旅行商品の造成にも努めた。古き良き時代と現代を融合させたコラボ旅行の企画・開発も進めている。 今後も、旅行商品の高付加価値化と持続可能な観光資源のさらなる磨き上げに取り組んでいきたい。
プラットホーム推進事業 夢たまプロジェクト事業 観光列車との関連事業	今年度は、JR九州と南薩4市のご協力のもと日本最南端の駅「JR西大山駅」の草刈り及び清掃作業を行った。また、指宿市では、指宿の玄関口である指宿駅で地元の高校生によるお茶の振る舞いや当協会では茶節の振る舞いなどで指宿へお越しいただいたお客様のお出迎えを行った。 今後も、より一層JR指宿枕崎線の利用促進に向け進めていきたい。
セントラルパーク指宿 (指宿市指定管理事業)	指宿市における観光事業の拠点として、観光客にはビジターセンターとしての旬の観光情報の提供に努めた。また、地元市民には公園等でくつろぐ機能、指宿温泉祭や各種イベントによる会場活用を複合的に持った公園・管理棟としての運営を図り、安心安全な市民の憩いの場としての環境づくりに努めた。その他、ドクターヘリのヘリポートとしての整備に努めた。

事業名	説明
指宿温泉祭 （実行委員会）	本年で第 77 回を迎える「指宿温泉祭り」を盛大に開催した。ハンヤ踊りには 2,300 名を超える参加者が集い、大変な賑わいを見せた。また、花火大会では皆様からの温かいご支援による花火募金に感謝を込め、2 尺玉の打ち上げを行い、来場者に感動を届けることができた。さらに、本年は姉妹都市・千歳市との盟約締結 30 周年の節目として、千歳市より YOSAKOI チーム「公立千歳科学術大学『光一天』」をお迎えし、祭りに華を添えていただいた。 今後も引き続き、市民が参加しやすく、時代に即した企画づくりを進めていきたい。
環錦江湾観光連絡会議	県内の錦江湾に接している各地域の広域連携を図り、事業に於いて更なる協力体制を構築した。 また、今年度も各地域に於いて、ワークショップや会議を開催し、意見交換を実施、重ねてそれぞれの企画を活かした体験プログラムの実施など、これからの錦江湾を通じた新しい観光素材の発掘に取り組んだ。 併せて、鹿児島県や鹿児島県観光連盟との連携を図り、更なる各種取り組みを実施し、県全体で錦江湾の魅力を発掘し発信に努めた。
長期滞在ツアーの推進	エージェントとの連携による泊食分離型長期滞在実施において本市及び周辺観光地での魅力が検証できたことにより、時代に合った新しい観光推進やマイクロツーリズムの提案を進め、時代に合った観光のスタイルを推進した。また、宿泊施設や関係者との連携を図りより良い滞在型観光の構築に努めた。
各種行事の協賛等	本年度も、「いぶすきフラフェスティバル」、「いぶすき菜の花マラソン」、「いぶすき菜の花マーチ」等のスポーツイベントへの負担金はもとより、「指宿温泉祭」「いぶすき産業まつり」など、祭りや各種イベントへの協賛を行う事と併せて、イベントに協力することで、指宿市民はもとより、参加者やイベント関係者に元気を届けることができた。
諸事業及び諸団体への助成及び連帯活動 （地域内の環境美化に対する助成事業）	指宿観光受入対策協議会や指宿温泉まちづくり公社（砂むし会館「砂楽」）との連帯を図り、誘客活動に努めた。 また、指宿の玄関口ともいえる JR 指宿駅に乗降する観光客、市民のために、駅構内、駅トイレ、駅周辺の美化清掃に努め、「指宿駅周辺を明るくきれいにする会」や、「足湯の清掃」及び、年 2 回開催される「クリーン指宿市民会議」に於いて、市民に協力を呼びかけ、指宿市内の清掃美化に努めた。 併せて、セントラルパーク指宿についても市民の憩いの場となるよう、清掃活動に力を入れた。
指宿市観光経済戦略会議	指宿市として策定した「指宿市観光ビジョン」の推進を図り、刻々と変化する環境に対応しながら、市民・事業所・行政が一体となって取り組むべき観光振興に関する施策の方向性を明らかにし、その実現に向けて取り組んだ。 今後、コンセプトや基本戦略を基として、各部会で話し合われたアクションプランの具体的政策の実現を目指して取り組みたい。

事業名	説明
いぶすき包括協定 指宿市立指宿商業高等学校	本年度は、いぶすき包括協定を結んでいる指宿商業高等学校にご協力をいただき、JR 特急「指宿のたまて箱」でお越しいただいたお客様へ指宿駅構内にてお茶のふるまいを行った。また、いぶすき検定に向けての校外研修にてガイド手配及び随行を行った。
アロハオープンゴルフ （観光協会主催自主事業）	第 15 回アロハオープンゴルフ大会（令和 6 年 10 月 6 日）開催 当初雨模様で開催が心配されたが、幸いにも天候が回復し、無事にプレーを行うことができた。参加者は 39 名で、和やかな雰囲気の中、盛況のうちに大会を終えることができた。